

明治廿八年

0984

軍事 秘 録

陸軍参察第一九號

陸軍刑法改正意見提出ノ件

昭和拾七年壹月拾四日

北支那方面軍参謀長安達二十三

陸軍次官木村兵太郎殿

首題ノ件ニ関シ第十二軍参謀長ヨリ別紙
ノ通り意見提出アリタルニ付進達ス

21
17

軍務局
305

昭和二十一年一月

仁參集本密等八二二號

陸軍刑法改正意見提出ノ件

昭和十七年一月十日 第十三軍參謀長 河野悦次郎

北支那方面軍參謀長 安達二十三殿

首題ノ件別紙ノ通提出スルニ付改正促進方配慮
煩度

陸軍

別紙

陸軍

一、戦地又ハ軍占領地ニ於テ兵威ヲ藉リ婦女ヲ強姦シタル者ハ之ヲ陸軍刑法ニ於テ處断ス

理由

戦地ニ於ケル強姦ハ軍紀ヲ破壊シ軍ノ爾他ノ宣撫工作ヲ一切無効ナラシム又被害者ニ於テ後難ヲ恐レ告訴ヲ躊躇スル場合極メテ多キヲ以テ非親告罪トシテ處分スルノ要アリ

二、俘虜ト爲リタル者ノ處罰規定ヲ設クルヲ可トス

理由

從來俘虜ニ関スル一般の規定無キ爲軍ニ於テハ其ノ情況ニ依リ奔敵若クハ軍中逃亡者トシテ處刑シ來リ各地ニ於テ其ノ取扱區々ナリ之カ規定ヲ設ケテ取扱ヲ一定スルヲ可トス

三、軍中ニ於ケル上官暴行、上官侮辱ニ就キ加重規

定ヲ設ケ且軍中抗命罪ノ刑期ヲ加重ス
(第五、六章増)

理由

戦陣ニ於ケル對上官犯ハ軍紀確保上更ニ嚴罰ス
ル要アリト認ムルニ依ル
四、逃亡罪ニ就テ未遂ヲ處罰スル規定ヲ設ク
(第七章修)

理由

離隊ノ動機ヲ斟酌シ逃走期間ニ拘ラス之ヲ處
罰スルノ要アリト認ムルニ依ル
五、軍中ニ於ケル哨兵酌罪ニ就キ加重規定ヲ設
ク(陸刑四八修)

理由

戦陣ニ於ケル歩哨勤務ハ其ノ任務重大ナルニ鑑
ミ

陸
電

更ニ嚴罰スル要アリト認ムルニ依ル

六重要尤軍用物ノ毀棄又ハ亡失罪ニ就キ過失犯

ヲ認ム

(第ハ三増)

理由

重要ナル軍用物ノ損失ハ直クニ戦力ニ影響スル所

大ナルニ依ル